



2021年5月11日

各位

会社名 株式会社インテージホールディングス
代表者名 代表取締役社長 石塚 純晃
(コード番号 4326 東証第一部)
問合せ先 取締役 池谷 憲司
電話番号 03-5294-7411(代表)

2021年6月期通期業績予想の修正および配当方針の変更 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月9日に公表した2021年6月期通期連結業績予想を以下の通り修正し、併せて、配当方針の変更および2021年6月期の配当予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 2021年6月期通期連結業績予想の修正 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 57,500	百万円 3,660	百万円 4,100	百万円 2,800	円 銭 70.08
今回修正予想(B)	58,000	4,550	5,250	3,800	95.08
増減額(B-A)	500	890	1,150	1,000	
増減率(%)	0.9	24.3	28.0	35.7	
(ご参考) 前期(2019年7 月～2020年6月)※	55,551	3,658	3,670	1,645	

※前期は3月から6月に決算期変更を行ったことから15か月の変則決算となっております。そのため当該数値は2020年6月期決算(2019年4月1日～2020年6月30日)から2020年6月期第1四半期決算(2019年4月1日～2019年6月30日)を差し引いて算出しております。

2. 修正の理由

2021年6月期通期の連結業績予想につきましては、第3四半期会計期間の業績を踏まえて売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益を上方修正することといたしました。

第3四半期会計期間は1月からの緊急事態宣言による影響を想定しておりましたが、影響は軽微であり、前年同一期間を上回る売上高を計上いたしました。また、3月期決算のお客様を中心にパネルデータの需要が高まったことや、コロナ禍でのリモートワーク主体の働き方による効率化などによる利益率の向上により、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益についても前年同一期間を上回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う緊急事態宣言が再び発令されるなど、お客様のビジネスに与える影響の見通しが極めて不透明な状況が続いております。今後の状況等によりビジネス環境が変化し、業績予想の修正等が必要となった場合には速やかに開示いたします。

3. 配当方針の変更

近年の財務体質の改善や連結業績の推移を勘案し、株主の皆様への利益還元を強化すべく、配当性向目標を従来の35%から40%に変更いたします。また、併せて、長期的なバランスシートマネジメントの見地から、連結純資産に対する配当の比率を示すDOE（自己資本配当率）を新たにKPIとして採択することとし、目標を4.5%以上といたします。変更後の利益配分に関する基本方針は以下の通りです。

（利益配分に関する基本方針）

当社は、グループ経営の成果であります連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としております。当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけており、配当につきましては、連結配当性向40%、DOE（自己資本配当率）4.5%以上を目標としております。また、自己株式の取得につきましても、機動的に対応し、資本効率の向上を図ってまいります。内部留保資金につきましては、当社グループの成長性と収益性を継続して高めていくための投資等に活用し、今後の業績向上に努めることで、株主の皆様へ還元させていただく所存であります。

4. 2021年6月期の配当予想の修正

	期末配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	24.00	24.00
今回修正予想	—	—	—	35.00	35.00
当期実績	—	0.00	—		
（ご参考）前期（2019年4月日～2020年6月）※	—	0.00	—	30.00	30.00

※前期は3月から6月に決算期変更を行ったことから15か月の変則決算となっているため、当該期間の数値を記載しております。

5. 修正の理由

2021年6月期通期連結業績予想の修正、配当方針の変更を踏まえ、2021年6月期末の1株当たりの配当金を11円増額の35円に修正することといたしました。この結果、配当性向36.8%、DOEは4.8%となる見込みです。

以 上